

依存症の理解を深めよう
回復を応援し、
受け入れる社会へ

一人で苦しまないで！依存症は回復できる病気です
一日も早い適切なサポートが、重症化を防ぎ苦しみから救います。



News & Topics



3月1日、依存症の理解を深めるための普及啓発イベント〈東京〉は、無観客にて開催し終了しました。開催の様子は、こちらをご覧ください。



「酔うと化け物になる父がつらい」の作者・菊池真理子さんによる、依存症を理解するための描き下ろしマンガです。



依存症の理解を深めるための普及啓発イベント〈福岡〉は終了しました。



ご出演の皆様からのメッセージが届いています

依存症の理解を深めよう
回復を応援し、
受け入れる社会へ



10月24日、古坂大魔王がサポーター取材第1弾として、「全国ギャンブル依存症家族の会」の東京事務所を訪問



厚生労働省の依存症啓発サポーターに古坂大魔王さんが就任！



依存症の理解を深めるための普及啓発イベント<仙台>は終了しました。

イベント情報



東京 2020年3月1日



福岡 2020年1月26日



仙台 2019年11月4日

MENU

依存症とは、アルコール、ギャンブル、薬物など特定のものをやめたくてもやめられず、社会生活にまで支障をきたす状態のことです。依存性のあるものを繰り返すことにより脳のブレーキにあたる部分が壊れ、欲求をコントロールできなくなってしまう病気です。 ※1

依存症の理解を深めよう
回復を応援し、
受け入れる社会へ

と。依存症という病気を正しく理解し社会全体で立ち向かうことが大切です。

あなたは病気になった人を責めますか？まして、病気から回復した人を差別することもしないでしょう。依存症は本人の意志でやめることが難しい「病気」です。なのに、依存症患者に対しては、「自分が悪いからだ」「なぜ何度も繰り返すのか！」と非難や叱責をしてしまうがち。さらに、回復した人に対しても差別や非難をする人が少なくありません。

今、依存症患者を苦しめているのは社会の無理解です。※2

回復を信じ理解するために、まず、知ることから始めませんか？

つまりいてもまた歩き出せる社会は、誰にとっても幸せな社会です。

- ※1 世界保健機関(WHO)は「精神に作用する化学物質の摂取や、快感・高揚感を伴う行為を繰り返し行った結果、さらに刺激を求める抑えがたい渴望が起こり、その刺激を追求する行為が第一優先となり、刺激がないと精神的・身体的に不快な症状を引き起こす状態」と定義しています。
- ※2 自治体の精神保健福祉センター、保健所、依存症専門医療機関、自助グループなどが支援先としてあげられます。

MENU

依存症の理解を深めよう
回復を応援し、
受け入れる社会へ



依存症ナビ

@izonshonavi

本サイトにマンガを
描き下ろしていただ
いた #菊池真理子 さ
ん原作の映画が本日
公開です。サイトにも
描き下ろしマンガ

せやろがい【依存症】



MENU

依存症って、 自業自得なの？

実は誰にでもなりうる可能性があり、
自分の意志で依存をやめることはできませ
ん。

病気だから回復すれば普通の社会生活も
送れるようになります。

「アルコール依存症」 とは？

[詳しく見る](#)

「薬物依存症」 とは？

[詳しく見る](#)

依存症の理解を深めよう
回復を応援し、
受け入れる社会へ

これまでの誤解を正していくことが大切です。

[詳しく見る](#)

とは？

[詳しく見る](#)



法人番号6000012070001

依存症の理解を深めるための普及啓発事業

[▶ このサイトについて](#) [▶ 利用規約・免責事項](#) [▶ リンク・著作権等について](#) [▶ 個人情報保護方針](#) [▶ アクセシ](#)

© 依存症の理解を深めるための普及啓発事業. All Rights Reserved.